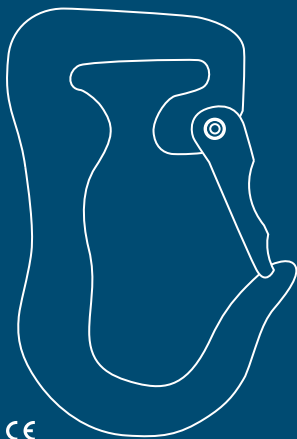


SpanSet[®]



JP

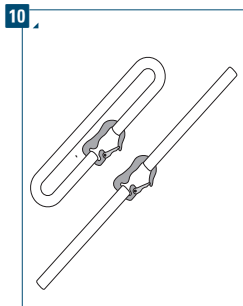
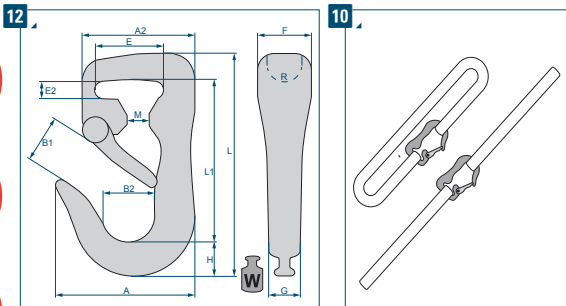
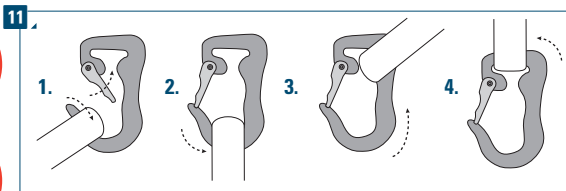


CE

取扱説明書

ASH-ジョーカーフック ver.1.0

SpanSet
Certified
Safety

**1****2****3****4****5****6****7****8****9**

12

	ASH 1t D049731	ASH 2t D049732	ASH 3t D049733	ASH 6t D061786	ASH 10t D062307
≈ W [kg]	0,7	1	2	4	10
≈ A [mm]	86	108	125	155	204
≈ A2 [mm]	69	77	93	129	175
≈ F [mm]	30	37	47	58	71
≈ L [mm]	130	160	172	217	304
≈ L1 [mm]	94	114	121	146	201
≈ B1 [mm]	29	34	36	46	71
≈ M [mm]	13	13	15	36	53
≈ B2 [mm]	31	39	50	55	79
≈ G [mm]	14	21	26	34	52
≈ H [mm]	20	27	27	35	58
≈ E [mm]	41	43	55	77	99
≈ E2 [mm]	8	10	13	17	23
≈ R [mm]	10	12	15	37	55



スパンセットジョーカーフックをお買い上げいただきありがとうございます。正しくご使用いただければ、長く使える高品質の製品です。

より詳細の指示が必要な場合はルッドスパンセットジャパンの担当者または、当社の製品技術担当者までご連絡ください。

当社のリフティング、落下防止、荷重保護技術と当社のサービスに関する詳細は下記URLよりご参照ください。

<https://www.rud-spanset.jp/>



スパンセットのジョーカーフックは、工業用として設計されています。

取扱説明書を読み込んだ上、内容を完全に理解するまではジョーカーフックの使用をお控えください。また、荷を吊上げる際の一般的な規則(※1)に従ってください

取扱説明書は使用期間中必ず保管し、使用する際は製品と共に使用者へお渡しください。

こちらに違反した場合、事故や怪我、死亡の原因になることがあります。



危険！

この重要な指示に従わないと、不適切な取り扱いをする恐れがあります。事故や怪我、死亡の原因になることがあります。

折り返しページにある記号は、以下の番号の下に説明がありますので、よくご覧ください：

- 1** ジョーカーフックは、使用荷重(WLL)以上の荷重をかけてはなりません。ジョーカーフックが破損したり、損傷したりすることがあります。
- 2** 破損、過負荷、摩耗したジョーカーフックは直ちに使用を中止してください。耐荷重は保証されません。
- 3** ジョーカーフックは、人や動物を運搬する際には使用しないでください。ジョーカーフックはこのような用途には設計されていません！
- 4** ジョーカーフックはフックの引っ掛け部分(図1赤枠内)でのみ使用してください。傾けると誤荷重の原因になります。
- 5** ジョーカーフックをエッジ(角)に当てないでください。ジョーカーフックが破損し、荷が落下する恐れがあります。
- 6** フック先端に荷重をかけてはいけません。誤った荷重のかけ方はフックの負荷能力を著しく低下させます。



図1

※1「6 トレーニングと重要事項」を参照

- 7 本製品は、不意に外れないような方法でのみ使用してください。荷が落下する恐れがあります。
- 8 金属製の金具（ロードフックなど）は、酸の中では決して使用してはいけません。強度が大幅に低下します。
- 9 吊り上げ中、荷重がコントロールできなくなるようなことがあってはなりません。荷重が揺れたり回転したりすると、建物や機械、人が傷ついたり、部品が落下したりする恐れがあります。

目次

- 1 機能説明と用途
- 2 安全上のご注意と取り扱いについて
- 3 ジョーカーフックの操作
- 4 点検、メンテナンス、修理、使用限界
- 5 保管・清掃
- 6 トレーニングと重要事項

1 機能説明と用途

ジョーカーフックはDIN EN 1677-2に準拠し、DIN EN 1492-2に準拠したスパンセットラウンドスリングおよびDIN EN 1492-1に準拠した吊り具と組み合わせて使用します。ジョーカーフックは、メーカーのラベルや付属の書類によって明確に識別することができますようになっています。ジョーカーフックの改造は一切禁止されています。ジョーカーフックを使用することで、スパンセットのラウンドスリングと吊り具をリングラグ、アイボルト、シャックル、フレームなどに固定できます。

2 安全上のご注意と取り扱いについて

訓練した（許可された）方のみが荷重を固定することができます。ジョーカーフックを意図しない使い方をすることは禁じられています。ジョーカーフックは、同じ耐荷重量のスパンセットラウンドスリングおよび吊り具、または同じ仕様のベルトスリングとの組み合わせでのみ使用してください。ベルトスリングの取扱説明書も必ずお読みください。吊り具とラウンドスリングの取扱説明書には、安全な吊り上げ作業に必要な重要な追加情報が記載されています。ベルトスリングはジョーカーフックにねじれずベルト部が平坦に挟み込まれてはいけません。

ジョーカーフックはクラス8鋼から鍛造されています。ジョーカーフックは-40℃から+200℃の温度範囲で安全にご使用いただけます。繊維スリングと組み合わせて使用する場合、繊維スリングの使用温度が低いため、(例:ポリエステル最大100℃)適用範囲が制限されます。



決して危険な場所にとどまってははいけません！



実際の吊り上げ作業の前に、荷の固定、吊り上げ、吊り下げの工程を細心の注意を払って計画してください。無謀な締め付けは、積荷に損傷を与えたり、従業員の生命や健康を脅かす可能性があります！

3 ジョーカーフックの操作

3.1 初回使用

最初に使用する前に、使用者は吊り具／ベルトストラップハンガーが注文に適合しているか、添付書類(適合宣言書や製造者証明書など)に不備がないか、添付書類のデータと製品ラベルが一致しているかを検査する必要があります。初回使用時には、DGUV規則100-500の2.8章、旧BGR500の2.8章に従って、権限を与えられた者が目視点検を行い、それを文書化しなければなりません。そのために、チャートを作成したり、検査カードを記入して保存したりするようにしてください。製品にRFIDタグを取り付け、IDXpert®(データベース)のように電子文書化を行うことで、ルーチン作業を迅速化し、簡素化することができます。

3.2 取付方法

ジョーカーフックは、同じ耐荷重量のラウンドスリングや吊り具との組み合わせに限りです。ジョーカーフック、ループ状のストラップの取り付け、および荷物の固定箇所の形状を必ず守ってください。(3.3および3.4を参照)



ジョーカーフックはDIN EN 1492に基づき、同じ耐荷重とカラーコード **10** の繊維スリングとの組み合わせを簡単にするために色分けされています。

スリングが工場ですでにジョーカーフックに接続されている場合、取り付けは必要ありません。

11 ジョーカーフックの取り付け方法

1. セーフティ・ラッチを内側に押し、スリング(ラウンドスリングなど)をフックのベッドに装着します。
2. スリングをフックの頭部に引き込みます。
3. スリングをフックの頭部の内幅全体に均等に、しわのないように配置してください。
ラウンドスリングや吊り具は、横方向へのずれやそれに伴う傾きが防止される程度に、ストラップ・ホルダーを満たす必要があります。
4. これでジョーカーフックがスリングに固定され、ジョーカーフックを使ってスリングを荷物に固定することができます。

3.3 セレクション 12

吊り荷の重量、形状、表面状態、設計上の特徴は、スリングを選ぶための重要な基準です。



ジョーカーフックと同じ使用荷重のスパンセット ラウンドスリングの組み合わせは許可されています。使用荷重6tのフックは、使用荷重4tおよび使用荷重5tのラウンドスリング／吊り具にも使用できます。同様に使用荷重10tのフックも使用荷重8tのラウンドスリング／吊り具に使用できます。

吊り具は様々なループ構造で作られています。したがって、吊り具・ループの太さと幅によって、ジョーカーフックとの組み合わせが決められています。吊り具はジョーカーフックに完全に掛け、挟み込まないようにしてください。11

3.4 締めつけ

負荷の方向に回転するリフティングポイントを使うと便利です。

その形状はジョーカーフックに適合し、ジョーカーフックの荷重配分と方向を最適化できるものでなければなりません。吊り上げ時に横荷重がかからないように、スリングと荷にジョーカーフックをかけてください。フックベッドはスリングポイント内で自由に動くことができなければなりません。フックを一行に並べて荷重を受け止めることができます。



ジョーカーフックの1-3t用は、ラウンドスリング 10 の延長や接続にも使用できます。フックをスリングの延長や接続に使用することは危険ではないことはテストで証明されています。

4 点検、メンテナンス、修理、使用限界

ジョーカーフックは、使用前に必ず欠陥がないかチェックしてください。欠陥が見つかった場合は、ジョーカーフックの使用を中止してください。担当者は、使用者が指定する点検時期に従って点検を行わなければなりません。少なくとも年に1回は行わなければなりません。使用状況や運転状況によっては、中間点検が必要な場合もあります。点検はDGUV規則100-500に従って文書化されなければなりません。さらに、すべての金属製フィッティングは、少なくとも3年に1度は亀裂の探傷検査を受けなければなりません。検査は、EN10228第1部(磁粉探傷試験-フラックス)または第2部(貫入試験)に従って行わなければなりません。初回使用后、耐荷重に影響を及ぼす可能性のある損傷や特別な事故が発生した場合は、正規の担当者が特別な検査を行う必要があります。運搬能力に影響を及ぼす可能性のある損傷や特別な事態が発生した場合は、適切な資格を有する者が例外的な点検を実施してください。



スリング検査のドキュメントを迅速かつ簡素化します。IDXpert®を使用して、Span Setは適切なソフトウェアとハードウェアを提供します。詳細はホームページwww.spanset.deをご確認ください。

ジョーカーフックは、以下の欠陥が発見された場合、使用してはなりません。

- 酸やアルカリなどの腐食性物質による損傷
- スリングとの接触面が損傷しているか、切り欠きなどの摩耗の兆候がある
- I.a. フックベースが断面の5%以上摩耗している
- 安全フラップが破損している、固着している、または開いたままになっている
- フックが曲がっていたり、腐食が見られる
- ひび割れや破砕箇所がある
- フックに大きな熱によるダメージが見られる

修理は、メーカーまたはメーカー認定の担当者のみが行うことができます。

ジョーカーフックの場合は、安全ラッチに限られます。ジョーカーフックの修理が不可能になった場合、金具はリサイクルできます。油や化学物質で汚染されたジョーカーフックは、特別廃棄物として廃棄しなければなりません。

5 保管・清掃

ジョーカーフックは、乾燥した換気の良い場所で、化学物質の影響がないように保管してください。汚れたジョーカーフックを清掃し、ラッチの安全ロック機構に軽く注油してください。洗浄には、市販のコールドクリーナー（水酸化カリウムやエチレングリコールを含まない）を使用できます。水素脆化、材料損失（サンドブラストなど）、亀裂の発生につながる燃焼などの方法は禁止されています。

6 トレーニングと重要事項

スパンセット吊り具/ベルトストラップハンガーは、DGUV規則 100-500、1492-2、EC機械ガイドライン2006/42/EC、およびDIN EN1977の要件を完全に満たしています。記載されている基準やガイドラインは、あくまでも一例であることにご留意ください。特定の業界や用途では、遵守しなければならない特別な安全要件があることをご承知ください。ベルトスリングを使用する際は、ドイツの職業団体の規則など、各地域の労働安全規則を遵守してください。より詳細な情報についてはルッドスパンセットジャパンから入手をお願いいたします。

用語解説:



取扱説明書を読み、警告と安全に関する指示に従ってください。



注意: 特に注意すること



禁じられていること



情報: 取り扱い上の注意

取扱説明書の作成、設定、認証、リスクアセスメント、ハザード分析、操作マニュアルに関するSpanSetのスペシャリストの専門知識をご活用ください
私たちのサービスについての詳細は、ホームページをご覧ください。



EN1492-1およびEN1492-2に基づく製造者証明書は、本取扱説明書の一部です。該当箇所は下記の水色のフィールドに表示されています。

EC Declaration of Conformity

pursuant to Appendix II Part A of EC Machine Directive 2006/42/EC
SpanSet GmbH & Co. KG • Jülicher Straße 49-51 • D - 52531 Übach-Palenberg

We hereby declare that the Joker Hook described below, in the version we have marketed, conforms in its design and construction to the fundamental safety and health requirements of the EC Machine Directive. Any unapproved modification of the Joker Hook voids this declaration. The Joker Hook must be used only for the purposes described in the operating manual.

Description of machine :	Joker Hook				
Type:	ASH 1T	ASH 2T	ASH 3T	ASH 6T	ASH 10T
Sr. no.	D049731	D	D049733	D061786	D062307
Function:	Load suspension device				
Production year :	Starting in 2013				
Applicable EC directives:	Maschinen-Richtlinie 2006/42/EG, Elektromagnetische Verträglichkeit RL 2004/108/EG				
Harmonized European standards applied:	DIN EN ISO 12100, DIN EN ISO 13857				
National standards and technical specifications applied	DIN EN 1492-1, DIN EN 1492-2, DIN EN 1492-4, DIN 60005, DIN EN 1677-1, DIN EN 1677-2, DIN EN 1677-3, DIN EN 1677-4, DIN EN 1677-5, DIN EN 1677-6, DIN 15428, DIN, EN 10228, 15429, DGUV rules 100-500				
Person(s) responsible for compiling the technical documentation:	SpanSet GmbH & Co KG				

Übach-Palenberg
26.02.2021

(Location, Date)

Andreas Höltkemeier
CEO

Patrik Schulte
CEO

■お問い合わせ先

RUD  **SpanSet**

株式会社 ルッド スパンセット ジャパン



本 社 〒550-0005 大阪市西区西本町2-5-28 コスモ西本町ビル 901号 TEL:06-6536-8807
東京営業所 〒135-0064 東京都江東区青海2-7-4 the SOHO 1132号 TEL:03-6457-1747
奈良物流センター 〒633-0061 奈良県桜井市上之庄720-3 TEL:0744-49-2780

ホームページ

<https://www.rud-spanset.jp>

2023.01